



83分、「角度がなかったけど強いヘディングが打てた」という山中の同点ヘッド

(撮影・星 宏樹)

駒澤大学 2-2 東京学芸大学

5月24日 11:30 保土ヶ谷公園サッカー場

駒大 2 (0-2) 2 東学大 (3位・19) (11位・8)

得点者(アシスト)

- 【東】 34分:小川 (鈴木崇)
- 【東】 44分:赤城 (鈴木崇)
- 【駒】 82分:山中 (鈴木寿)
- 【駒】 83分:山中

KOMAZAWA	GAKUGEI
GK④岡 大生(2)	GK④武田 大(1)
DF③鈴木寿毅(4)	DF⑤小川佑樹(4)
DF⑤伊藤 龍(3)	DF③奥野慎佑(4)
DF⑥中山友規(3)	DF⑥高橋秀人(3)
DF②武田憲明(4)	DF②西澤秀平(2)
MF⑤平岩 宗(4)	MF⑩向後陽平(2)
MF⑦森本勇一(4)	MF⑥小川泰明(4)
(56分)⑩山崎良介(4)	MF⑦桂木啓斗(4)
MF⑩島田祐輝(4)	(72分)⑩太田圭祐(1)
(89分)⑩濱田 宙(1)	MF⑦鈴木崇文(3)
MF⑧山崎健太(3)	(80分)⑩征矢貴裕(3)
FW⑩田村貴之(4)	FW⑩村山翔平(2)
(68分)⑩山中淳樹(3)	FW⑩赤城雅史(4)
FW⑩三島康平(3)	

S U B	S U B
GK①矢田雄基(4)	GK①山下渉太(3)
DF⑩市川祐樹(3)	DF⑤世永恵祐(4)
DF⑥山崎欽吉(1)	DF②西條尚人(4)
FW⑩山下真太郎(3)	MF⑩田村達也(4)
MANAGER	FW⑩佐藤 豪(3)
秋田浩一	MANAGER
	星 貴洋

警告(C)/退場(S)

【東】 10分:小川泰明(C)

[シュート]8:9[GK]10:17[CK]10:6 [直接FK]16:8
[間接FK]3:9[OS]3:8[主審]岡野宇広[観衆]約300人

※上記データは全て左側の数字が駒澤。

山中は去年までは主に1リーグに出場。「下のチームは上のチームよりやろうっていう意識を持ってと言われていた。それがこの試合に生きた」というように多くの経験を積んだ。今年になってからはJr.リーグを主戦場とし、出場3試合で3ゴールと結果を残した。「下が頑張って底上げし、最終的にはトップチームにいききたい」という願望を叶え、念願のトップ昇格。それからわずか1週間でデビュー戦を迎えた。1リーグの試合でも緊張してしまふという山中は「監督に呼ばれた時は頭が真っ白だった」が、いざピッチに出

この試合、リーグ戦デビューを飾った男が、スタンドにいる駒大サポーターを総立ちにさせた。山中の追撃弾から1分後、DFの視界から一瞬消える動きでフリーになった山中は、鈴木クロスの反応。「強く当てられて良かった」ヘディングシュートをネットに突き刺した。本人が「気持ち良かった」と振り返るゴールで、劣勢だった試合を引き分けに持ち込み、「大事な一戦で貴重な勝ち点をもぎ取った。」

山中、驚愕のデビュー戦

れば(交代した)田村さん以上にやらないと途中から出た意味がない」と気迫あふれるプレーを披露。そして出場の15分後に「自分的にはああいうパターンは多い」という得意な形で、初出場、初ゴールの偉業をやってのけた。空中戦を得意とする中山も「ナイスヘディングシュートでした!」と驚きの表情を浮かべていた。

鈴木主将は「下から上がってきた選手が活躍しているのが今うちが崩れない要因」と語る。それが形として如実に現れたのが、この試合の山中のゴールであった。この活躍が応援している選手の励みとなり、チームに結束力を生み、リーグ開幕から掲げていた「全員サッカー」を見事に実現させている。秋田監督から「ゴール前での得点、粘り強いディフェンスを期待」される山中がチームに6試合負けなしの強さ、結束力をもたらした。

(中野成博)